



2021年11月10日

各位

会社名 株式会社 資生堂
 代表者名 代表取締役 社長 兼 CEO
 魚谷 雅彦
 (コード番号 4911 東証第1部)
 問合せ先 IR 部長 北川 晴元
 (TEL. 03-3572-5111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月12日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

1. 2021年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益 または 当期純損失(△)	1株当たり 当期純利益 または 当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,067,000	27,000	27,000	35,500	88.87
今回修正予想(B)	1,044,000	32,000	33,500	30,000	75.10
増減額(B-A)	△23,000	5,000	6,500	△5,500	
増減率(%)	△2.2%	18.5%	24.1%	△15.5%	
(ご参考)前期実績 (2020年12月)	920,888	14,963	9,638	△11,660	△29.19

2. 修正の理由

2021年12月期の通期連結業績予想は、新型コロナウイルスのワクチン接種拡大に伴う緩やかな市場回復を前提としながら、先日公表した事業譲渡など構造改革および為替影響を織り込み、前回公表した業績予想から修正しました。具体的には、ワクチン接種拡大に伴い2019年の売上水準まで回復している欧米事業を中心に上方修正する一方、緊急事態宣言による影響を大きく受けた日本事業の見通しを下方修正するほか、中国における同ウイルスの変異株拡大・天候不良等のマイナス影響を織り込みました。さらに、メイクアップブランド「bareMinerals」、「BUXOM」、「Laura Mercier」の事業譲渡(2021年12月上旬譲渡予定)および移行サービス契約等に基づく売上高、営業利益影響を織り込みました。

以上のことから、売上高は230億円減額し1兆440億円となる一方、営業利益は、市場の変化に合わせて徹底したコスト効率化を進めたことなどから50億円増額し320億円となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益については、営業増益および税金費用改善の一方、上記メイクアップブランドの事業譲渡に伴うのれんの減損損失を特別損失として73億円計上したことなどから、前回予想を55億円減額し300億円となる見込みです。なお、今回織り込んだ一連の構造改革費用を除く親会社に帰属する当期純利益は、前回予想から実質110億円増額の465億円となる見込みです。為替レートは、通期平均1米ドル=110円、1ユーロ=130円、1中国元=17円を前提としています。

3. 配当予想

本業績修正に伴う2021年12月期の配当予想に変更はありません。今期は、中間配当20円(実施済)、期末配当30円とし、前期に対し10円増配の年間50円の配当を実施する予定です。

(注)上記の業績予想は、当社が作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上